



Hino Advancement Center Newsletter

日野振興センターだより

平成29年3月発行 no.16

「日野川の源流と流域を守る会」の設立を記念して  
平成14年に植樹された桜（日南町霞）

## menu

- ・日野郡への移住・定住者座談会
- ・日野郡に移住して活躍中の方を紹介します
- ・原木しいたけ(115号菌)が発生しました
- ・集落所有共有地の事で困っておられませんか？
- ・地域の誇り「たたら」を盛り上げています！
- ・日野郡中山間営農ネットワーク協議会
- ・春先の鳥獣被害対策について  
ー農作業を始める前にー

# 日野郡への移住・定住者座談会

鳥取県の人口は、昭和63年の616,371人をピークに減少傾向が続いています。平成20年に人口が60万人を切ったことを契機に、県も移住定住施策を前面に出して取り組んでいます。

1月20日、日南町、日野町、江府町に移住して来られた住民の方と移住定住に携わる専門職員に集まっていただき、「日野郡への移住定住」をテーマに座談会を開催しました。

**藤本** 皆さん、こんにちは。今日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。県外から日野郡へ移住された方は、平成27年度は95人、平成28年度上半期では53人と、ここ数年で多くなってきました。せっかくだい日野郡を選んで移住して来ていただいたのですから、気持ちよく定住へと結びつけてほしいと願っています。ぜひ皆さんの率直な意見をお聞かせください。

## 1 日野郡への移住のきっかけ、実際に住んでみた感想

**藤本** それでは皆さんに移住先として日野郡を選んでいただいた決め手や、実際に住んでみた感想をお話いただきたいと思っています。

**加藤** 日南町への移住は自然が決め手でした。「ふきのとう」がたくさん生えているのを見た夫が、「言うこと聞くから、ここに住ませて！」と。(一同笑)

日南町の景色は綺麗で、キツネや野ウサギがいて毎日感動です。ただ、雪はすぐ慣れていません。

以前住んでいた大阪では蛇口を開けば水が出る、栓を捻ればガスが出るという生活だったので、井戸ポンプやボイラーなど初めて見るものばかりで「何だろう、これは？」と思いました。ご近所さんたちに教えてもらって助かっています。

**時任** 私は小さい頃から日本国内やアメリカの各州で暮らしてきました。移住に対する自分のハードルも低く、行った先の文化や言語

などを受け入れる習慣が身に付いていましたので、特に困ったこともありませんでした。

小学校1年生の子どもの故郷と呼べるものを作ってあげたいと思い移住先を探していたときに、日野町で偶然小学校の校長先生に出会い、「この先生になら子どもを任せられる」と思ったのがきっかけです。住んでみて感じたのは、JRの本数が少なく公共の交通機関が不便なあと。

**糸田川** 当時は条件が厳しかった農業研修生ですが、何度か訪れて馴染みのあった日南町に応募して合格したのがきっかけです。「縁のあるところで農業をやりたい！」という気持ちで日南町に住んでいます。元々僕の一族は四国の出身で山林などを持っているので、四国で就農という選択肢もあったのですが、日南町の方が利水など農業をややすいということもありました。

## 2 移住定住を町や県が進めるときに大切な視点

**藤本** それでは次に、移住定住の施策を進めるために必要な視点について聞かせてください。

**井上** 「住宅改修用いくら出しますよ」というような補助金よりも、即入居できる家の方が移住を進めるには効果的です。移住希望者が求めるのは田舎暮らしよりも駅や店に近いなどの利便性であって、雪など冬でもないと皆さんおっしゃいます。駅の付近にすぐに入居できる改修を終えた空き家を確

保しておく方がよいと思いますね。

**時任** 私は家屋だけではなく、ライフスタイルなど移住後のイメージを示してあげることが大切だと思います。そこで、地元の事業所の従業員の方々から話を伺い、釣りや山菜採りなどのライフスタイルをパンフレット等で紹介するよう工夫しているんです。

**田中** やっぱ仕事のために住む人が多いと思うので「このような仕事をしませんか」という呼びかけが効果的じゃないかなと思います。

**糸田川** 僕は移住定住専門のコンシェルジュのような人が欲しいですね。

**藤本** 移住に当たっては、住むところや仕事のほかに、子どもの教育環境が大切だとよく言われますが「子どもの教育について不安です」というような相談はありますか。

**加藤** 相談者の中には、都会のマンモス校では校舎もプレハブで校庭も小さくて、それが嫌で日南町に引っ越して来たいとおっしゃる方もいます。

**井上** 生徒数が多すぎて少なすぎても困る、ちょうどよい数のところはないか、という相談もありました。ちょうどよい規模って難しいですね。(一同笑)

**田中** 日野郡では、高校生になると学校への送迎が大変だと聞きます

## メンバー紹介



**糸田川 啓さん**  
兵庫県出身、平成22年日南町に農業研修生として移住。平成24年からトマトで新規就農。



**加藤 智子さん**  
日南町移住専任相談員。大阪府出身、平成27年に日南町に移住。



**田中 正之さん**  
鹿児島県出身、平成21年に日野町に移住し米作りに従事。平成25年には日野町出身の妻と世界一周、33カ国に滞在。



**時任 芽生さん**  
日野町移住定住コーディネーター。鹿児島県出身、平成28年8月に日野町に移住。



**渡邊 俊一さん**  
境港市出身、平成25年に江府町に移住。地域の方に教わりながら農業を勉強中。



**井上 由美子さん**  
江府町移住定住相談員。県内出身。



**藤本 好正さん**  
鳥取県西部総合事務所日野振興センター 所長

す。一番大変なのは、出産、育児のとき、そもそも常勤医師がいる産婦人科と小児科がないので、米子まで通わなくてはいけない。特に緊急時が心配なんですよ。

### 3 仕事について

**藤本** 仕事を見つければ大変な作業ですよ。例えば、半農半Xで生計を立てる場合、このXにはどのようなものがあると思いますか。  
※半農半X：農業と他の仕事を組み合わせた働き方

**糸田川** 僕はトマト栽培が軌道に乗っていますが、Xとして家庭教師やデマンドバスの運転手もやっています。日野郡のライフスタイルとして、半農半Xで生計を立てることができるということを全国にPRしてはどうか。

**田中** 僕はXとして草刈りや屋根の雪下ろしのニーズが高いので、結構小銭を稼ぐことができますよ。地域の皆さんにも喜ばれますね。

### 4 移住者が地元へ溶け込むために必要なこと

**糸田川** 移住者はいつまで移住者扱いなのでしょう。僕は地元の会合にも出席して、親世代、祖父母世代とも渡り合わなければいけない立場です。よほど自分の方が地元で詳しく、地元の同世代と全く意見が合わないと感じることもあるんですよ。(一同笑)

**渡邊** 単身者は地元の会合に全部参加しないといけないので大変ですね。会社員のスケジュールに集落が合わせるので、土日に仕事がある人は出席が難しくなっています。

**藤本** そのような点では「地元の人と折り合えない」というような話を聞くこともありますね。「田舎に来るのはいいけど、付き合いが面倒だ。」というような相談は結構あるものなんです。

**加藤** ご年配の相談者の方で「近所付き合いはしたくない」とおっしゃる方がよくおられます。でも日南町は地域に高齢者も多いため、助け合って生活してもらいたいと思っています。最初から付き合いが面倒という相談者の方には、「日々の交流がないと助け合いもできないので、しんどいかもかもしれませんよ」というアドバイスをして

います。

**糸田川** そういう人たちは、田舎のいいところ取りをしたいということなのでしょうかね。(一同笑)

**時任** 実際、移住されてからクレームをいただいたことがありました。だから、移住希望者とのマッチングを行うために自治会長一人一人に順次お会いし、地域の特性を把握するようにしています。地域と相談者の両方が不幸になるような組み合わせは避けるようにすることも大切です。

**田中** 僕は日野町に来てから今の集落で4箇所目ですが、確かにそれぞれ特色があって全然違いますね。

**渡邊** 作家のような職業の方など、「都会よりも田舎で静かに仕事をしたい」という人もいますので、例えば出役免除であったり、近所付き合いをしなくても良いという特別な地域のようなものを作って、住む場所と仕事をする場所のみ提供するというのはどうでしょうか。

**糸田川** 町民の全てが移住者を求めているわけではないことも知っ

ておいて欲しいですね。役所の人たちが移住者を求めているも、地域の受け入れ体制ができていないということもよくあるんですよ。そのような地域に行っても辛い目に遭うだけです。

**藤本** お話を伺うと、改めて移住定住相談員さんの仕事の大切さと難しさを感じますが、期待はとも大きいと思います。

### 5 求められる移住者像

**藤本** かつては「移住者なら誰でも来てください」という時代もありましたが、今は来て欲しい方を地域がリクエストする動きも出て来ていますよね。地域が求める人材についてはいかがでしょうか。

**加藤** 「誰でもよいかから来て欲しい」と町が思っていると誤解している方もいます。「行けばすぐ住めるんですよ」というような、計画性のな方は困ります。やはり地域の人には移住者と一緒に地域を盛り上げていきたいと考えていらっしゃると思いますので、来られるものが上手くマッチングできればよいなあと思っています。

**時任** 隣の家にどんな人が引っ越してきても、代々その地域に居る方は引っ越せませんよね。どのような人を地域が求めているのかの見極めがとても大切です。

**藤本** 東日本大震災以降、地方での暮らしを求める動きも出て来ました。その中で、例えば或る町では「インシシ」を駆除してくれるハンターや、伝統文化の指導や継承をしてくれる人が来てくれたらいいなあ」というように、町から人材を求める動きも出てきています。皆さんの地域でも、どのような人に来て欲しいかをリクエストしていくこともこれからは必要だと思えます。これからは皆さんの知恵と元気に期待しています。

座談会の後、「このような場合は今までなかったの、とても有意義だった」との感想をいただきました。移住して来られた方や地域の皆さんと知恵を出し合って、日野郡を盛り上げていきましょう！

## 日野郡に移住して 活躍中の方を紹介します

日野郡に移住して地域で活躍中の方を訪ね、こちらでの暮らしや今後の目標などについて話を伺いました。



**矢吹 健太郎さん**（日南町在住）  
茨城県出身  
農事組合法人HOSOYA勤務

知り合いに誘われてたまたま日南町に遊びに来たとき、70代後半のお爺さんが足を引きずりながらも農業をされているのを見て、何か自分にもできることがあるのではないか、と考える移住を決めました。若いというだけで地元の皆さんが全力で応援して下さいます。同郷の妻とは日南町で知り合って結婚し、子どもも2人生まれました。集落で子どもが誕生したのは25年ぶりとのことで、近所のおばあちゃんたちが自分の孫のように可愛がって下さいます。

不便に感じるのは、年1～2回の大雪と、小児科の休診日や緊急時には米子の病院まで1時間以上かけて行かなければならないことです。

米作りにやりがいを感じており、現在は30haくらいですが、今後どのくらいの田んぼで米作りを任されるのか、とても楽しみです。日南の米は元々良質米ですので、「海藻有機特別栽培米」などでさらに磨きを掛けていくのが目標です。これからは米の加工品の開発にも取り組んでいきたいと考えています。



**高田 美樹さん**（日野町在住）  
日南町出身、鳥取県西部地震  
展示交流センタースタッフ

大阪の大学を卒業後、東京や伯耆町での勤務を経て、結婚を機に日野町にJターンしました。今は、鳥取県西部地震展示交流センターのスタッフとして、展示の企画や視察受け入れなどを担当しています。

日野郡は自然の移り変わりで季節を感じられる、経済では計れない豊かさがああります。また、人の繋がりが密で、畑の野菜や川で釣った鮎を届けていただいたり、その代わりにできることはこちらもする、という生活です。私はこれを“他給自足”と呼んでいます。今の職場では、保育園に入れるまで“子連れ勤務”をさせていただくなど、地域で子育てをしていただいていると感じています。その反面、医療関係はたいへんです。産婦人科も小児科も、米子のかかりつけの病院まで1時間かけて通わないといけません。病児保育施設がないのも困ります。

今後の目標は、養護教諭になって日野郡の子どもたちのサポートをすることです。



**古海 修祐さん**（江府町在住）  
福岡県出身、(株)奥大山ドリーム  
代表取締役、道の駅「奥大山」副駅長

大学に在籍中、サークル活動として兵庫県西宮市内の限界集落でボランティアを行っていました。大学卒業後は大阪府で就職しましたが、地域おこし協力隊に興味を持ち募集のHPを見ていたときにたまたま目に留まったのが江府町でした。当初は地域から疎外されるのではと心配していましたが、優しく受け入れていただきました。江府町に来てよかったと思うことは、四季がはっきり感じられることと、お米が美味しいと初めて感じたことです。

昔と異なり今は、若者がチャンス求めて都会から田舎に来る時代だと思います。僕は、社会貢献やボランティアということよりも、一般的には「金儲けにならない」と思われていることをビジネスに変えていくことに魅力を感じます。

現在、道の駅の副駅長となり、とてもやりがいを感じています。観光客が7割を占める道の駅ですが、地元の人にも集まっていただけるような仕掛けを作っていきたいと考えています。



# 原木しいたけ(115号菌)が 発生しました

ハウス内では、大型のしいたけが発生しやすい環境を整えるため、水分や温度を管理します。

日野振興センターだより9月号で、本年度、県西部地域で5名の方々が「鳥取茸王」の生産を目指して取り組まれていることをお伝えしましたが、新設されたビニールハウスでは、多くのしいたけが発生し始めています。

しいたけづくりには2つの工程があることをご存知ですか？

最初の工程は、春、クヌギやナラの木にしいたけ菌を植え付け、冬までの間に木の中にまん延させる「ほだ木づくり」です。こうしてできたほだ木からは、冬、気温が下がるとしいたけが発生してきます。そのしいたけを高品質に仕上げる工程が「しいたけづくり」です。

「しいたけづくり」は、「鳥取茸王」が発生する大径で重いほだ木を、気温が下がってくる初冬に、伏せ込み場である森林からビニールハウスに入れ込む、大変な重労働から始まります。



発生し始めたしいたけ

水分管理は、ほだ木が乾いてきたら、表面が湿るくらいの水を5分から10分程度かけ、これを繰り返す行なうことで、しいたけを育てるための水分を供給します。

温度管理は、発生してきたしいたけの一つ一つに袋かけをして、一定温度で保湿することにより、じっくり大きく育てます。この時、足の太さが2.5cm程度以上のものにかけると、10%程度の確率で「鳥取茸王」になります。

このように、しっかり見守り、手



発生したしいたけへの袋かけ

をかけ、大切に育てることで、質の良い大きなしいたけを作ることができますが、「鳥取茸王」を作ることには大変難しいものです。

日野振興局では、先頃、一般財団法人日本きのこセンターの指導により、ハウス内ではほだ木を管理する方法やしいたけを発生させる方法、作業上の注意点などについて技術研修を実施したところです。

今後も、定期的に技術指導を行なうとともに、JAの協力を得ながら、販売・流通を推進し、原木生しいたけの生産拡大、消費拡大を図ります。

年末から日吉津村の「アスパル」に並び始めた「とっとり115」。みなさんも是非、原木生しいたけをご賞味ください。

問 日野振興局農林業振興課

電話：085917212018

FAX：085917212125



# 集落所有共有地の事で困っていませんか？



相続が数世代遡っている  
ままである。

名義人の所在が分からない  
人がある。

相続関係者全員から承諾を  
得るのが大変。



こんな状況の土地を所有されていたら、耳よりな情報を  
こっそりお知らせします。

**必見**



集落等が所有する土地について、**登記の特例制度**が  
創設されました。

集落等が所有する土地を地縁団体名(集落名等)に名義変更しようとするときに、名義人(又は法定相続人)の連絡先が不明等により関係人全員の書類が整わない場合、相続書類に代えて役場が発行する証明書を登記申請書に添付することで登記手続きが可能となりました。

なお、あらかじめ認可地縁団体を設立する必要があります。

**要件**

集落が所有する財産で、10年以上保有していること  
所在が不明な名義人又は法定相続人が存在すること など

詳しくは、役場担当課まで御確認ください。

日南町	総務課	0859-82-1111
日野町	企画政策課	0859-72-0332
江府町	総務課	0859-75-2211



## 【認可地縁団体】

登記名義人：〇山〇夫、×川×彦・・・

相続人の所在が  
わからない等により・・・

**移転登記  
できない**

登記名義人：△△自治会

## 【市町村】

②提出資料の確認

③公告(3月以上の期間)

異議がなかった場合

④証明書の交付

①申請

〈申請要件〉

(1)認可地縁団体が所有

(2)10年以上占有

(3)登記名義人又は相続人の所在が知れない など

**移転登記可能に**

※登記費用として登録免許税(固定資産税評価額の  
20/1,000)が必要です。

## 認可地縁団体とは？

自治会、町内会、集落等の地縁による団体で、市町村長の認可を受けた団体です。(法人格を取得)



# 地域の誇り「たたら」を盛り上げています！

日野郡は古くから「たたら」製鉄が盛んで、全国でも有数の鉄の産地であり、日野郡の産業形成や住民生活のみならず日本の近代産業振興に貢献し、鳥取県が誇る歴史的資源となっています。

近年、この「たたら」の歴史を顕彰することによって、地域の活性化を図ろうという動きが民間の有志等に起こり、たたら文化の伝承や地域の誇りを取り戻す新たな取組が始まっています。

## 初の試み！ 奥日野「たたら学」初級検定の開催

明治時代まで日野郡で盛んに行われていた「たたら」ですが、現在は詳しく語ることでできる人材は少なくなっています。そこで、日野郡の「たたら」の歴史に対する理解を深めてもらうために日野軍★みらい創生デザイン会議によって奥日野「たたら学」検定が実施されることになりました。



初級検定会は平成28年12月から平成29年2月の間に日野町、江府町、日南町、米子市で開催され、総勢65名の方が合格されました。検定では「たたら」の一般的な知識に加え、日野郡内の「たたら」にまつわる人物や地名などの問題も出題されました。嬉しいことに、受験者には県内の「たたら」関係者や一般の方ももとより、県外からの参加もありました。今回は初級検定でしたが、今後は中級や上級の試験も予定されていて、継続的に実施される予定です。

また、合格者には立派なオリジナル認定証とバッジが贈られ、「たたら」を広くそして次世代に語り継いでいく人材として様々な場面で活躍することが期待されています。

※詳しくは「日野郡★みらい創生デザイン会議」までお問い合わせください。

〒689-4503 日野郡日野町根雨 228-1 電話：0859-72-0202



## 日野郡新ご当地メニュー「たたらんち」GW 正式デビュー！

「たたら」の燃え上がる炎を地元の食材を使って和洋中の料理で表現した新ご当地メニュー『日野郡3町三色「たたらんち」』が、昨年10月のテスト販売でお客様の要望が多かった「デザート」を加えてゴールデンウィークの4月29日(土・祝)に正式デビューします。テスト販売に参加した5店舗に、新規店舗が加わり7店舗で提供予定。ランチとセットで買い物や観光施設を巡ると「日野郡の美味しいもの」が当たるキャンペーンも企画されています。「たたらんち」を通じて地域が活性化し、ひとりでも多くの方に「たたら文化」に親しんでもらえることが期待されています。

### ❀ たたらんち春バージョン(デザートつき)



和食の例



洋食の例



中華の例

(おわび)

センターだより第15号3ページ「「たたらんち」プレデビュー!!」の文中に誤りがありました。謹んで訂正いたします。

誤「平成28年ゴールデンウィークでのデビュー」→正「平成29年」

問 日野郡広域交流促進協議会事務局 地域振興課内  
電話：0859-72-2082 FAX：0859-72-2072

# 日野郡中山間営農 ネットワーク協議会

この1年

日野郡中山間営農ネット  
ワーク協議会は地域や営農組  
織がお互いに知恵を出し合  
い、協力して問題解決につな  
げていくことを目的として平  
成28年6月22日に設立され、  
郡内から農業法人等17経営体  
が加入しました。第1期とな  
る今年度は3回の研修会を行  
い、多数の経営体に参加しま  
した。8月は(有)いわみ農  
産の北村代表を招いて岩美郡  
の共助の取り組みを学び、12  
月には東広島市で法人間連携  
の先進事例を学びました。



設立総会の様子



先進事例視察(東広島市)

研修後、法人同  
士で大型機械の共同  
利用について話をす  
る動きもみられ、協議会設  
立の効果が少しずつ現れて  
くることを期待しています。  
その他にも全国では経営発展  
や地域振興につながる様々な  
取り組みが行われており、そ  
の中心に農業法人等が連携し  
て関わっている事例もありま  
す。今後色々な事例を学  
び、意見交換を行う環境づく  
りを支援していきます。

問

日野振興局日野農業改良普及所  
電話：0859-17212025  
FAX：0859-17212090

## 春先の鳥獣被害対策について

### －農作業を始める前に－

今年は雪がしっかり降りましたので、せっかく施工したワイヤーメッシュ柵が破損している可能性があります。基本的に動物は足を怪我して動けなくなれば生死にかかわるため、柵を跳び越えるのではなく、下側を押ししたり、かじったり、穴を掘ったりして、侵入を試みます。

については、次の4点に気を付けて、点検してみてください。

- ①倒木等による変形：倒木を除去し、ワイヤーメッシュを修復。修復困難な場合は張り替えてください。
- ②地面の沈下：柵の下側を軽く蹴って、柵が振動する場合は柵の下側が地面にしっかりと刺さっていない証拠です。このような箇所は集中的に攻められ、穴を掘られます。ワイヤーメッシュをしっかりと地面に刺し直してください。
- ③結束線の劣化：3か所の結束があるかを確認します。また柵を揺すって結束のゆるみや切断がないかを確認してください。劣化している箇所は新たに結束し直してください。
- ④動物の侵入痕：穴を掘られた場合、埋め戻すだけではすぐに掘り返されます。掘られたところに鉄柱を刺し、ワイヤーメッシュと結束した後、穴を埋め戻してください。



倒木等により柵が変形



雪により柵が倒伏



地面の沈下により生じた隙間

問 日野郡鳥獣被害対策協議会 電話：0859-72-1399